

< 指 針 >

- すべてのチームにおいて、大会期間中、適正な引率者・監督・コーチが付き添うこと
- すべての参加者は、イベントを通し、スポーツマンシップにのっとり行動すること
各チームの引率者・監督・コーチは、父兄及びその他関係者がしかるべく行動をするよう監督する
スポーツマンシップに著しく反する行為は、参加資格剥奪の対象となる
- 引率・監督・コーチは、選手が負傷した場合、迅速に対応できるよう対策を立てておくこと
- 演技構成／曲目／衣装などは全ての観客に対して適切であり、演技者の年齢相応のものであること
- 演技中のサイン／コール／ジェスチャーなどは、衣装にふさわしくガイドラインに沿った内容であり、チームの属する機関や協会に認められたものであること
- 下品／みだらな振付や曲目／曲中の言葉が常識の範囲外とみなされた場合は減点の対象となる
不適切な単語を曲中から除いて効果音を入れた場合でも減点の対象となる
- 著しくマナーに反した場合には審査対象外となる場合もある

全 部 門 共 通 演 技 規 定

- 1チーム 3名以上から出場可(Cheerleading部門に限り、人数は3~24名までとする)
- 演技時間は、2分30秒以内とする(超過は3秒まで)
- 入退場は各30秒以内で速やかに行うこと
- 演技フロアは、奥行15m×幅20mとし、縦横の中央にラインを引く
(スタンツを実施する部門に限り、安全性を考慮しチアマット上での演技とする)
- 安全性を考慮していない行為、フロアを傷つける行為は禁止とする
- 演技構成に無関係なアイテムのフロアへの持ち込みは禁止とする
例:チームのぬいぐるみ、手具として使用しない小道具など (Spiritleading部門のフロア置き道具などは除く)

部 門 別 演 技 規 定

◆Cheerleading部門

項 目	LEVEL 3	LEVEL 4	LEVEL 5	LEVEL 6 (大学生のみ)
人 数	3人以上 24人以下			
コスチューム	チアユニフォーム			
手 具	Pom・ボード・メガホンなど応援に適したものであること			
履 物	競技者同士のダメージや怪我への安全性を考慮したシューズ(衝撃吸収力・足へのフィット感等)			
構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・チアリーディングの要素(アームモーション、スタンツ、タンプリング、コール、ダンス、ジャンプ等)を組み入れた構成とすること ・スタンツは演技時間の3分の1以上入れること ・コールは必ず行うこと ・コール部分に音楽使用も可 			
特 徴	どれだけチアリーダーとしての役割を果たしているかが重視される			
タンプリング スタンツ・リフト	スタンツはチアマット上で行うこと 各レベルのセーフティガイドラインを遵守すること			
そ の 他	コール部分に音楽使用も可 チアマットの仕様(横16m×奥行12m/青色/厚さ3cm)			

部 門 別 演 技 規 定

◆Spiritleading部門

項 目	高校生・大学生
人 数	3人以上 (上限はなし)
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める
手 具	自由とする (大道具を使用する際に事前に事務局まで連絡)
履 物	自由とする(靴下のみは禁止) ※床を傷つける危険性があるものは避けること(ハイヒールなど)
特 徴	ハーフタイムショーのようにショーアップされたスポーツエンターテインメント性のある内容であること
タンプリング スタンツ・リフト	「タンプリングについて」参照 スタンツ・リフトの実施は不可
そ の 他	テクニックは入れなくてもよい (技を競う部門ではありません)

◆Songleading部門

項 目	Pom部門		Pom/Dance部門
	高校生	大学生	高校生
人 数	3人以上 (上限はなし) Small・・・12人以下 Large・・・13人以上	3人以上 (上限はなし) ※エントリー数によってSmall・Largeに分ける可能性あり	
コスチューム	チアユニフォーム ・学校名・チーム名が記載 ・素材等は問わない	自由とする	自由とする (チアユニフォーム不可)
アクセサリ	不可	衣装としてのアクセサリは認める	
手 具	Pomのみ使用可		
履 物	スニーカータイプを着用 (ジャズシューズ・バレエシューズ不可)	自由とする (靴下のみは禁止)	
構 成	<ul style="list-style-type: none"> ・32カウント以上Pomを置いてはいけない ・キックライン(メンバーが1列に並んで演技)を16カウント以上入れること ・ストレートアームモーションを中心とし、エッセンス的にジャンプ・リブ等を組み入れた構成とすること 		<ul style="list-style-type: none"> ・キックラインを16カウント以上入れること ・演技の半分はPomを持ったストレートアームモーションの構成とすること
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを応援する場面に合った表現や内容が求められる ・同調性と視覚的効果、美しく正確なアームモーション、ポンポンを使用した技術、そしてダンスの技術的要素を取り入れること 		曲に合わせたダンスワークや表現が求められる
タンプリング スタンツ・リフト	前転・後転・ショルダーロール可 スタンツ・リフトの実施は不可		

部門別演技規定

◆Dance/Drill部門・Hip Hop部門

部門名	Dance/Drill部門	Hip Hop部門
項目	高校生	高校生・大学生
人数	3人以上（上限はなし）	
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること	
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める	
手具	自由とする （但し、Pomの使用不可）	
履物	自由とする（靴下のみは禁止） ※床を傷つける危険性があるものは避けること（ハイヒールなど）	
構成	ミリタリー・メジャーレット・ダンス・ フラッグ・プロップのいずれかであること	Hip Hop・Funk・ロックンロールなどのストリート スタイルとする（ブレイクの要素を含むことも可）
特徴	ドリルチームとしての規律を持ち、チームカラーを 活かしての同調性・強調性・統一性が求められる	正確性・スタイル・独創性・ボディバランス・ ボディコントロール・リズム・統一感と楽曲の 演出を強調したストリートスタイルを競う
タンブリング スタンツ・リフト	「タンブリングについて」参照 スタンツ・リフトの実施は不可	「タンブリングについて」参照 スタンツは肩車までの高さまで可 （ベース1人に対して2人以上の組み合わせは禁止） リフトの実施は不可

◆Free Style部門

項目	大学生
人数	3人以上（上限はなし）
コスチューム	自由とするが、年齢に相応で、全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
アクセサリ	衣装としてのアクセサリは認める
手具	自由とする （但し、Pomの使用不可）
履物	自由とする（靴下のみは禁止） ※床を傷つける危険性があるものは避けること（ハイヒールなど）
構成	JAZZ・リリカル・モダンなど、チームカラーを生かし 「踊る」ということを自由に表現すること
特徴	各ダンススタイル・技術の正確性・独創性・コンビネーション・ しなやかさ・バランス力・姿勢・チームの統一感を競う
タンブリング スタンツ・リフト	前転・後転・ショルダーロール可 スタンツ・リフトの実施は不可

◆Half-Time USA（競技部門ではありません）

項目	Half-Time USA
衣装・手具	自由とする
履物	自由とする （靴下のみは禁止・床を傷つける危険性があるものは不可）
必須構成	特になし
タンブリング スタンツ・リフト	スタンツを実施する場合はセーフティガイドラインを遵守し、チアマット上で行うこと
その他	・演技時間は2分00秒以内とすること ・年齢制限はなし

タンブリングについて

このルールは、Spritleading部門・Dance/Drill部門・Hip Hop部門に適用される

- タンブリングは、演技フロアに片手・片足・または体の一部が接している状態のみ実施できる
- すべて補助なしで行うこと
- 腰が頭を越える体勢での回転を伴う空中技は禁止（宙返りなど）
- 単発、コンビネーションのいずれも可

有効技		禁止技	
前転・後転	ショルダーロール	飛び込み前転	ロンダード
側転・片手側転	前方・後方転回 （走り込み不可）	側方宙返り	前方・後方空中転回（バック転）
倒立		ひねり技	前方・後方宙返り
立ちブリッジ	※バック転不可		
ヘッドスタンド			

判断しかねるものについては、事務局までお問い合わせください